

科目名	公衆衛生学		科目ナンバリング	N-FN HS 1-12. H N	単位数	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
	看護基礎科目	必修	科目コード	N20014	時間	30時間				
区分	アクティブラーニング	無	担当者名	三浦 雅史			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 環境問題をはじめとし、新しい感染症の出現、食品をめぐる問題、職業と疾病との関係、ライフサイクルによる健康状況の多様化など社会の進展に伴って緊急かつ複雑な対応を求められる公衆衛生学的事象にいかに取り組むかを考える。環境保健として、物理的、化学的、生物的、社会的環境と健康問題について、学習する。対人保健として、保健、医療、福祉が一体となってこそ生活環境改善が実現することを学ぶ。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2.3に関連し、カリキュラムポリシー2-1に関連している。</p>									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学で扱う用語と比率について理解することができる。 ・疾病分類について理解することができる。 ・環境と人間の健康についての関わりを理解できる。 ・人々の生活の場と健康問題の関係を理解することができる。 ・医療資源、マンパワーについて理解できる。 ・公共政策的な健康に対するアプローチの方法を理解できる。 									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容					備 考		
第1回	公衆衛生学序論		公衆衛生の扱う対象、領域について学習する。							
第2回	社会の変遷と健康問題の変化		健康問題の変遷と社会のかかわりについて学習する。							
第3回	感染症の予防		感染症の種類と変遷について、個人対策、社会対策について学習							
第4回	生活習慣病の予防		生活習慣病の原因と対策について学習する。							
第5回	生態系と環境		地球環境と生物、ヒトの生態系との関わりについて学習する。							
第6回	物理的環境		温熱環境、光環境、物質との関わりについて学習する。							
第7回	化学的環境		空気、水、化学物質とヒトとの関わりについて学習する。							
第8回	生物学的環境		食物、生物とヒトとの関わりについて学習する。							
第9回	地域保健活動と保健行政		地域保健とは何か、誰がどのように関わっているかを学習する。							
第10回	母子保健活動と保健行政		母子保健について公衆衛生学的なアプローチを解説する。							
第11回	学校保健組織と活動		学校保健の特殊性と問題点について公衆衛生の役割を学習する。							
第12回	産業保健		産業の実際と健康問題について学習する。							
第13回	老人保健・福祉		老人保健・福祉の現状と将来予測について学習する。							
第14回	精神保健		精神保健関連の実態と対策について学習する。							
第15回	国際保健医療		公衆衛生の立場から国際保健や医療に何ができるかについて学習する。							
評価方法及び評価基準	授業の対応、レポート、試験の加算方式 講義の参加度（10%）、レポート（40%）、試験（50%）									
課題等	レポート内容、期日等については講義時に説明する。									
事前事後学修	事前学習として合計22.5時間以上を目安とする。									
教材教科書参考	教科書：シンプル衛生公衆衛生学2023、南江堂 ISBN978-4-524-23156-0 C3047 必ず事前に用意してください。									
留意点	公衆衛生学は身近な健康問題を扱う学問です。ネットニュース等、普段から関心を持って下さい。									